

ほろのちもん

①76 宝くじ



薩摩郷句 兼題「外面」
 外面そとらん女房かかんおかげで楽たき当選あがつ
 (唱) 女房かかが良よかじ俺おれも投票ひょうれたが
 北村虎王
 外面そとらを理想りそん亭主てしち人ひとは言ゆつ
 (唱) 家いへでなブスツしちよよつた知したじ
 諸木小春
 セールスそとづん外面そとられほろつつ又また嵌かつ
 (唱) 気きが付つつみれば裸はだかけひんなつ
 諸木美舟
 外面そとらん愛想えそ笑われ疲たれた顔つらん皮かわ
 (唱) 風呂ふろどみ浸ひかつ地ぢどん出だつしやい
 上村牛歩
 外面そとらで一生いっせい損つすい交際つ下手た
 (唱) 見みい人ひとた見みつち気きにも留とめんじ
 植村昭子

大崎短歌会 兼題「岸」
 大津波おほつなみあの地獄ぢごく絵ゑの再またびを起たこささないでと岸かみに祈いのる
 内田ちどり
 拉致らっしされし人ひとら齒はぎしりして恋こふならむ故国こくにの海うみの波なみ打うつ岸かみ辺べ
 原田葉子
 おだやかな波なみ打うち寄よせる冬ふゆの海うみ 岸かみ辺べに濡ぬれし桜さくら貝かい拾ひろう
 長重悦子
 連れ立ちて横瀬よこせ海岸かいがんに子こや孫まごと初日はつひ待まちちしも遙とほけくなりぬ
 穂園芳江
 ああの岸かみへ渡わたれば夢ゆめのオアシスおアシスだ罪つみ深ふかき身みはままだ許ゆるされず
 宮原のり

大崎俳句会
 去こりゆかぬ津波つなみの記憶おぼえ北きたに冬ふゆ
 益倉睦美
 去年こぞ今年ことし姉あねの看護かんごに暮くれにけり
 坂元つる子
 初春はつしゅんや吾子わがこ大桶おほづきに手てをかざす
 内村美恵子
 丈夫ますらの片袖かたそでぬぎて弓ゆみはじめ
 宮脇洋子
 あやとりに婆おばの手てを借かる日向ひなたぼこ
 折田スズ
 元朝げんてうの鶏鳴けいめいきわたる山河さんかかな
 宮下のし



今月の表紙

町のシンボルにイルミネーション!

道の駅『くにの松原おおさき』に設置されているカブトムシのモニュメントにイルミネーションが施されました。

いまでは、大崎といえば、カブトムシといわれるほど、町を象徴する存在となっています。

人権啓発シリーズ②4

あなたの当たり前が、誰かを傷つけているかも。

～インターネットによる人権侵害について考えるための『気付き』のヒント～

- インターネットの情報は正しいはずだ。
- ネットの掲示板上でプライバシーを侵害されてる人は、その人に何らかの責任があるから仕方ない。
- ネットの掲示板は、匿名で何でも自由に書き込める場所だ。
- みんなもやっているから、少しくらいの悪口なら書き込んでもいい。

インターネットを利用した生活の中では、いつ自分が被害者や加害者になるか分かりません。ただそれだけに、利用する私たちの人権意識やモラルが求められているのです。